



えひめ協働推進フォーラム

～新しい公共支援事業成果報告会～

8月31日(土)
13:00～16:00

会場:愛媛県男女共同参画センター

【主催】愛媛県ボランティア・市民活動センター（愛媛県社会福祉協議会）

【後援】愛媛新聞社、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ
FM愛媛、愛媛CATV

え ひ め 協 働 推 進
フ ォ ー ラ ム

～ も く じ ～

■プログラム	1
■開会	2
■成果発表	3
天空の郷地域福祉フェスティバル in 久万高原	4
まちづくり学校 双海人	8
社会福祉法人 上島町社会福祉協議会	17
YGP（八幡浜元気プロジェクト）	28
■講演『まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために』	36

【参加者の皆様へ】

本日は、本フォーラムご参加いただき誠にありがとうございます。
参加にあたって以下の点にご留意いただきますようお願いいたします。

- (1) フォーラム中は、携帯電話をマナーモードにするか電源をお切りください。
- (2) フォーラム中に体調が悪くなった方は、近くのスタッフにお申し付けください。
- (3) その他ご用のある方は、近くのスタッフにお申し付けください。

えひめ協働推進フォーラム

～新しい公共支援事業成果報告会～

「新しい公共支援事業」で誕生、また発展した活動等を広く県民や地域の担い手の方々へ伝えることをとおして、これらの取り組みを基に地域課題解決に向けた連携や協働による活動が本県において、今後一層促進されることを目的として開催します。

プログラム

12:00～13:00 **受付**

13:00～13:10 **開会**

13:10～14:45 **成果発表**

コメンテーター：特定非営利活動法人 まちづくり支援えひめ

代表理事 前田 真 氏

コメンテーター：IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]

代表 川北 秀人 氏

報告者：(久万高原町)

天空の郷地域福祉フェスティバル in 久万高原実行委員会

委員長 竹森 洋輔 氏

(伊予市双海町)

まちづくり学校 双海人

(伊予市地域おこし協力隊) 富田 敏 氏

(上島町)

社会福祉法人 上島町社会福祉協議会

主事 福田 広寿 氏

(八幡浜市)

YGP(八幡浜元気プロジェクト)

リーダー 浜田 規史 氏

14:45～15:00 **休憩**

15:00～16:00 **講演**

『まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために』

講師：IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]

代表 川北 秀人 氏

【開 会】(13:00~13:10)

■オリエンテーション

(MEMO)

【成果発表】(13:10~14:45)

(コ-テ-ィネ-ター) 特定非営利活動法人 まちづくり支援えひめ

代表理事 まえだ まこと
前田 真 氏

(コメンテーター) I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所]

代表 かわきた ひでと
川北 秀人 氏

(報 告 者)

①天空の郷地域福祉フェスティバル in 久万高原実行委員会

委員長 たけもり ようすけ
竹森 洋輔 氏

②まちづくり学校 双海人

(伊予市地域おこし協力隊) とみた さとし
富田 敏 氏

③社会福祉法人 上島町社会福祉協議会

主事 ふくだ ひろひさ
福田 広寿 氏

④Y G P (八幡浜元気プロジェクト)

リーダー はまだ のりふみ
浜田 規史 氏

(MEMO)

1 天空の郷地域福祉フェスティバル in 久万高原

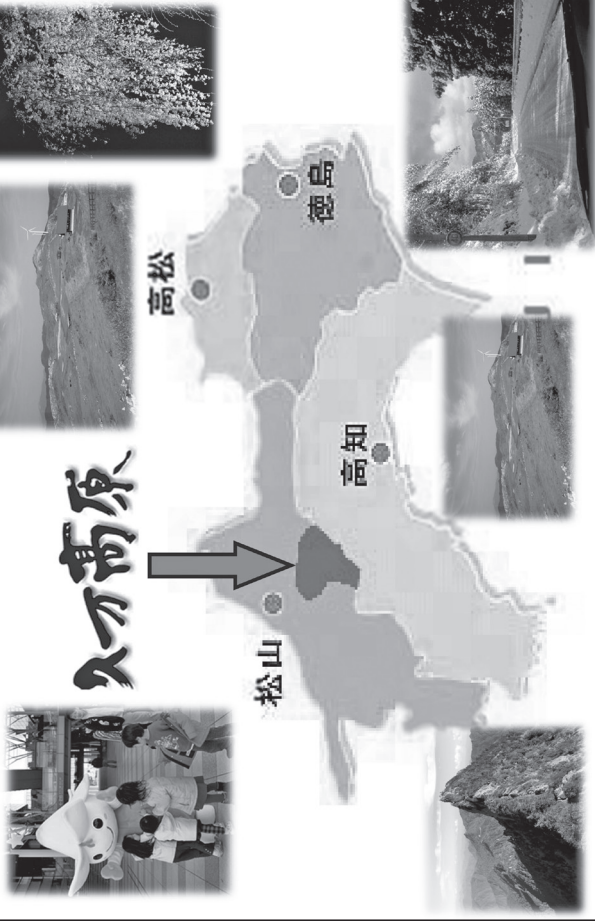
実行委員会委員長 たけもり 竹森 ようすけ 洋輔 氏

「えひめ協働推進フォーラム」
（新しい公共支援事業成果報告会）

天空の郷地域福祉フェスティバルin久万高原実行委員会
委員長 竹森洋輔



久万高原町の紹介



久万高原町の人口状況

世帯数 / 4,861 戸

人口 / 9,686 人

内訳
 男 4,553 人
 女 5,133 人

※平成25年6月末現在

久万高原町の高齢化率

43.72%

※愛媛県下1位の高齢化率

愛媛県内の高齢化率=27.64%

（平成25年4月1日現在：愛媛県長寿介護課調査資料参考）

民間との協働の可能性と必要性（新しい公共）

久万高原町の課題

- ◆高齢化 ◆限界集落 ◆集落の点在 ◆商業の限界 ◆過疎化
- ◆子ども不足(担い手不足) ◆文化の衰退 ◆耕作放棄地 ◆山林の整備不足 など

↓
いわゆる中山間地域の課題そのもの！

課題解決していくためには……課題が多岐にわたるため、今のうちから異業種連携を進める必要がある！

（10年後・20年後の久万高原町をイメージしたとき……。）
（地方交付税の減額、介護保険制度等で担えない福祉サービスの限界）

↓
異業種連携による実行委員会を結成！



久万高原の課題や課題に対し取り組みたいこと！

キーワード 『地域資源活用』と『居場所づくり』



『居場所づくり』の可能性

- ★高齢者や障害者の閉じこもり予防や地域コミュニティへの参加誘発
- ★子どもを借りて高齢者が元気になる取り組み
- ★気軽に集まれる場があることで、みんなが元気になり、コミュニティ構築に繋がり地域が元気になる。地域が元気になると街が元気になる。

『地域資源活用』の可能性

- ★廃校跡地を活用することで、その地に人が集まる。
- ★人が集まることで、地域活動が起きる。
- ★地域活動が起きることで、地域が元気になる。
- ★地域が元気になっていくことで、高齢者や障害者の出番が訪れる
- ★地域やみんなが元気になり、街も元気になる

福祉の充実に向けた取り組みから、街全体が元気に！

実行委員会を組織し、天空の郷地域福祉フェスティバルin久万高原を開催



フェスティバルを実施することが主目的でなく、フェスティバルを通して緩やかなネットワークづくりや、今後の新たな協働活動の可能性について模索していった！

課題も浮き彫りに・・・。

- ① 実行してみようと思うことが、『福祉』に結びつきにくく、単なる街づくりや、街おこし活動となっては・・・？
- ② 狭義の『福祉』から、広義の『福祉』の結び付けが難しい。コミュニティづくりは、地域の福祉充実のためには重要・・・？

今後の活動は！？

- 『地域資源活用』として、廃校跡地の利用
- 『居場所づくり』への取り組み

※ または、『地域資源活用』と『居場所づくり』を一緒にして、取り組む予定。



取り組み形態は？

実行委員会は解散し、新たな委員会を立ち上げアクションを起こしていく予定

実行委員活動をとおして（まとめ）

フェスティバルテーマ：気づきと活動の広がりを目指して

気づき

- ◆ 協働の必要性と可能性
- ◆ 地域をつくっていくことで、根深いコミュニティが形成されていく。
 - 地域が元気になる。
 - 高齢者や障害者が地域コミュニティに参画できる。
 - 街が元気になる。

活動の広がり

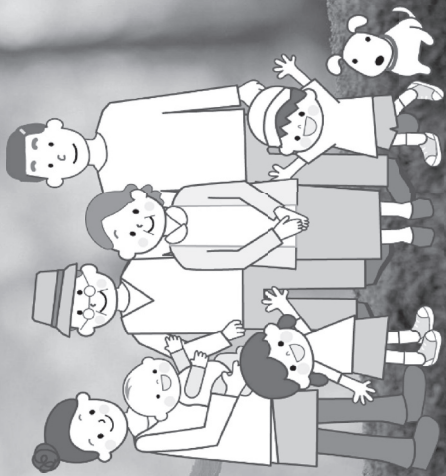
- ◆ 地域資源（廃校）を活用した地域づくりへの取り組み
- ◆ 地域との繋がりを持った居場所づくりへの取り組み

2 まちづくり学校 双海人

(伊予市地域おこし協力隊) とみた 富田 さとし 敏 氏

いまよりもっと子育てのしやすい双海町に。

「願いの七タプロジェクト」



新しい公共支援事業成果報告会 地方分科会
主催 まちづくり学校 双海人(ふたみんちゆ)
伊予市地域おこし協力隊 (双海地域事務所)
共催 愛媛県社会福祉協議会
伊予市社会福祉協議会
伊予市社会教育課
伊予市双海地区公民館

まちづくり学校 双海

ふたみんちゆ

校訓
ふるさとを愛し
たのしく学び
みんなが幸せになる

まちづくり学校 双海

教諭
講師
ファシリテーター

校長

校
夢
員
用
夢
員

事務局
地域おこし協力隊など

地域住民
NPOなど
企業経営者
高校生・大学生
行政職員

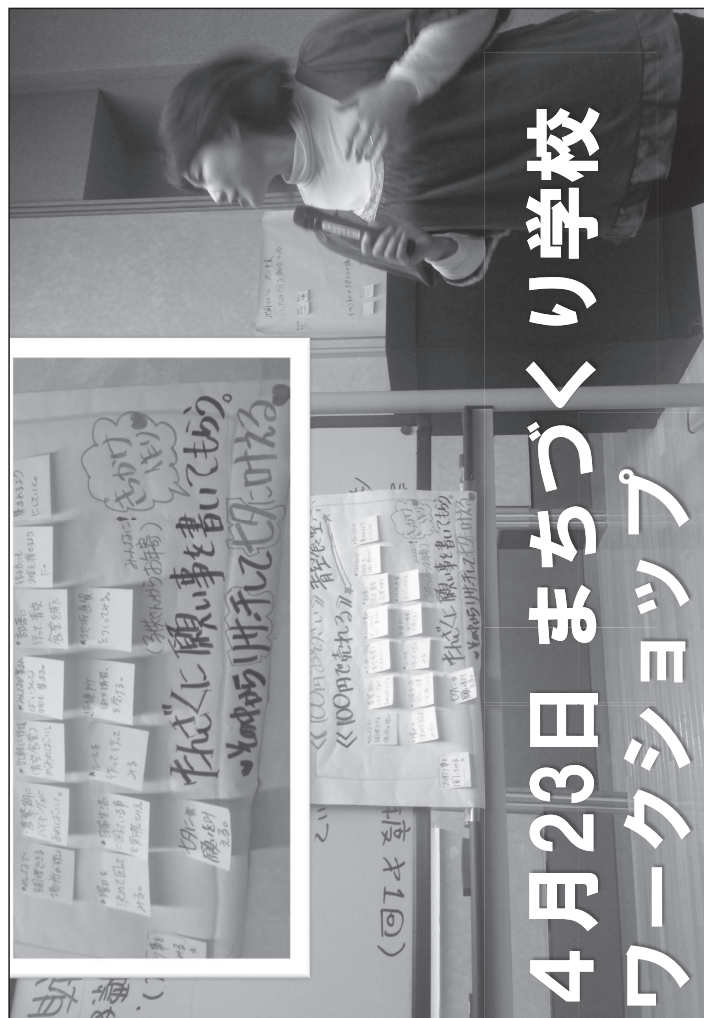
だれでも
参加OK!

多様な参加者が集う
地域活性化の学び舎。

■まちづくり学校 双海人 運営のキーワード

- ① **多様性**
年齢階層、職域、女性、若者、よそもの、学識者等
- ② **対等・平等**
組織、役職、立場等に関係なく
- ③ **オープン**
わかりやすく、誰でも参加、他人任せにしない
- ④ **小さな社会実験から**
まずはやってみる、小さくはじめる

「移住交流で学校を救え」



4月23日 まちづくり学校
ワークショップ

楽しいの七夕 ふたみの夢短冊



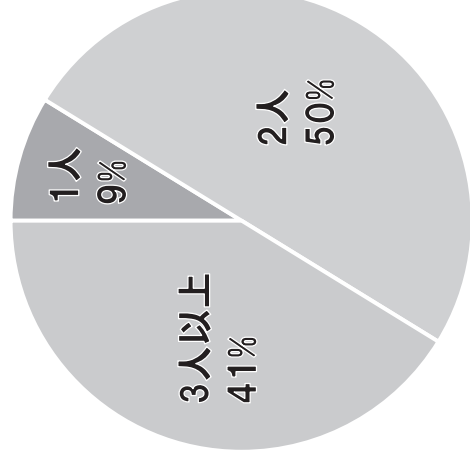
7月7日～8月2日まで展示
七夕



8月4日 トライアスロン大会inふたみ

■お子さまの人数

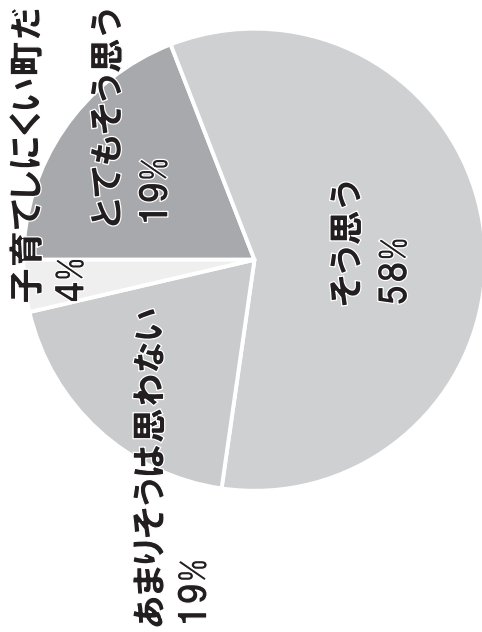
全国の平均は1.7人
(愛媛1.68人)
(東京1.61人)
日本一の沖繩でも1.86人
これは自慢すべき数字です。
厚生労働省「平成24年国民生活基礎調査」



お子さまが2人以上いる家庭は9割を超える。
強引に平均をだすと2.3人以上、子たくさんさん。

子育てアンケートの実施

■双海町は子育てしやすい町だと思いますか？



「とてもそう思う」、「そう思う」で約8割、残りの20パーセントを減らしていきたい。

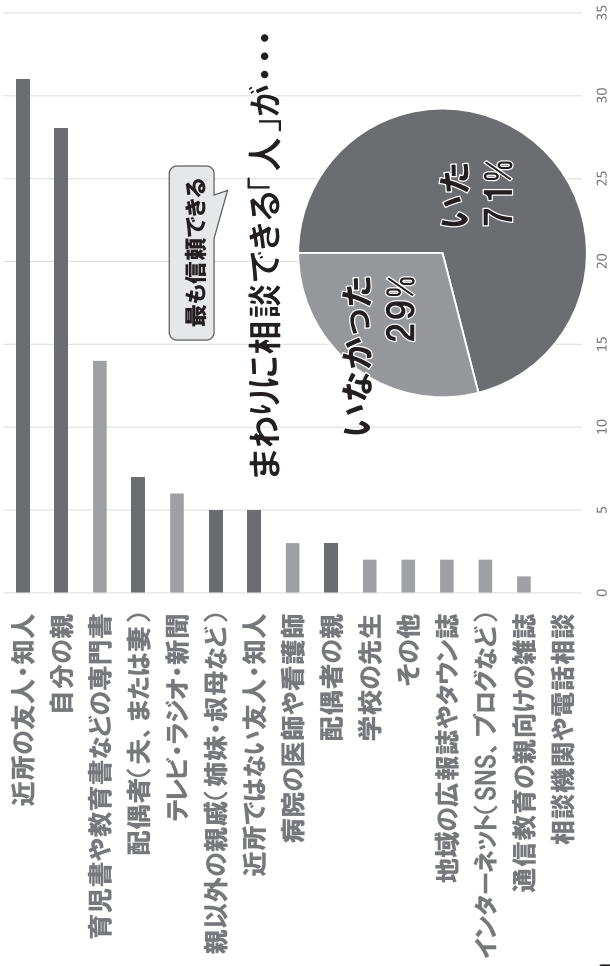
■双海町で子育てをして、困ったと思うこと。

- ・交通機関が不便であること ※多数意見
- ・小児科、病院が近くにない ※多数意見
- ・お買いものが遠い
- ・習い事など交通が不便
- ・生活のどこをとっても自家用車がいること

- ・中学校がバス通学になったのはとても不便です。
- ・高校生になり、JRの便数が限られており、特に帰宅時、時間が合わず終電まで待つが、伊予市まで迎えにいかないといけない、定期代を減らしてほしい、バスを出してほしい

- ・習い事の選択肢が少ない
- ・駅が遠く、習い事なども常に送り迎えがいること
- ・そろそろ習い事などさせたいけど近くにはないですよね・・・

■子育ての情報源 ※最も参考にしたもの



■双海町で子育てをして、困ったと思うこと。

- ・子どもの数が少ないこと ※多数意見
- ・友だちが少なすぎる
- ・土日遊ぶ友達がいない

- ・中学生の部活動の選択肢が少ない(仕方がないが)
- ・中学校の部活が少なく選ぶのが苦痛になっていること

- ・同級生が少なく、人間関係がかたよってしまふ
- ・子どもが少ないため、競争ができない 競争心に欠けてるかも・・・
- ・子ども同士の関係が固定しがちなこと
- ・クラスの人数が少なすぎて子どもの視野がせまい
- ・子どもの数が少ないのでつきあいが狭くなること
- ・子どもが少ないので高校～大人数の中の生活が不安
- ・同級生が少なくコミュニケーションの取り方が心配(高校進学時)
- ・少人数で保→小→中と友達もあまり変わらなず高校進学が心配

■双海町で子育てをして、良かったと思うこと。

- ・自然があり、子育てには良い環境だと思えます
- ・自然に囲まれた中で育つことができたこと
- ・自然豊かな環境で育てられる。

- ・自然がたくさんあるところ
- ・自然が多く空気もきれい
- ・自然がたくさんある
- ・自然が豊か、海と山
- ・自然の中で育てられる
- ・自然に恵まれてる
- ・自然がいっぱい
- ・自然が多い

- ・虫がいっぱい
- ・自然 海 山
- ・山あり、海あり・・・
- ・のびのび自然と触れ合えること
- ・海と山に近く、自然にふられる
- ・常に自然とふれあえる
- ・自然(海)の環境はいいと思う
- ・自然が豊かで育てやすいと思う
- ・山や海や、自然の多いところ
- ・自然の中で育てられるのはよい
- ・まだ越してきて半年ほどですが、自然が豊かでとても良いと思います

12

■双海町で子育てをして、良かったと思うこと。

- ・地域の方が優しい
- ・広い世代の方々と交流がある
- ・周りが顔見知りで相談しやすい
- ・近所の人に大事にしてもらえる。
- ・近所の方がみんないい人たち。
- ・地域の人たちが見守ってくれていること
- ・近所の人もよく声をかけてくれる

- ・近所の方が子どもに声をかけてくれる
- ・ご近所の方みんな良い方！！
- ・周りが優しい
- ・近所のお年寄りが気軽に声掛けして下さる
- ・地域の方、みんなに声をかけてもらえる
- ・周りがみんな仲がいいこと(友人、ご近所)

14

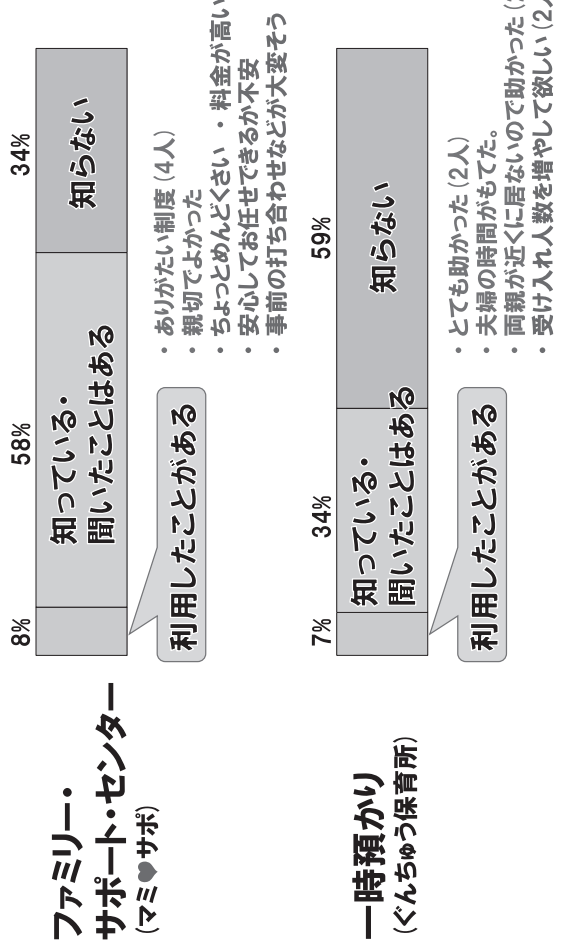
■双海町で子育てをして、良かったと思うこと。

- ・人数が少ないので、みんなが友達で仲良くできる
- ・人数が少なすぎて学校の全生徒の名前を覚えられる
- ・友達の様子などよくわかる
- ・ころ豊かな児童(同級生の素直さ)
- ・のんびりとした空間で友だちとの争いが少ないこと
- ・上の子が下の子のお世話をよくしてくれた
- ・子どもが少ないので異年齢でも仲が良く、みんな知っているところが良い

- ・町全体で子育てしてくれている。特に社会教育(公民館)など様々な活動があり、好奇心いっぱいの子供が豊かな心を持っていると思います。
- ・保育所、公民館等で自然のなかでの体験学習に参加することが多い

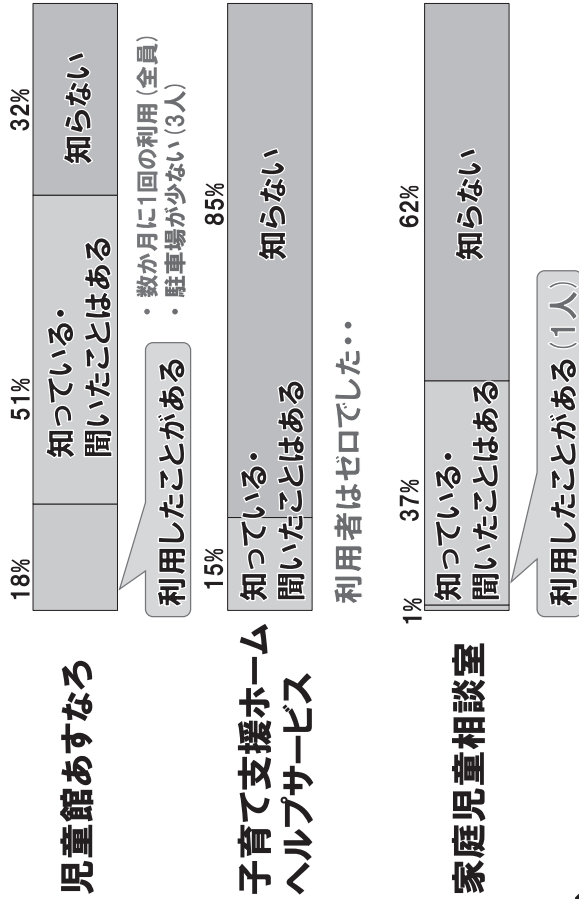
16

■公的サービスの利用について



22

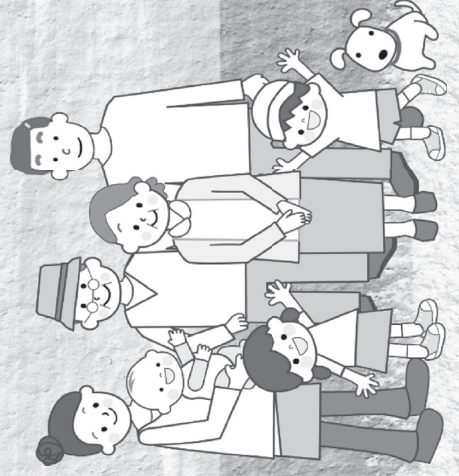
公的サービスの利用について



子育てフォーラムの開催

いまよりもっと子育てのしやすい双海町に。

「この町の子育てを考える」



新しい公共支援事業成果報告会 地方分科会
 主催 まちづくり学校 双海人(ふたみんちゅ)
 伊予市地域おこし協力隊(双海地域事務所)
 伊予市社会教育課
 共催 愛媛県社会福祉協議会
 伊予市社会福祉協議会

「この町の子育てを考える」



子育てフォーラム「いまよりもっと子育てのしやすい町づくり」
 8月20日(火)午前10:00～ ※11:30終了予定

- ①アンケートから読み取るこの町の子育て ※11:30終了予定
- ②私が気づいた地域での子育て
- ③「イクメン」の取り組みから学ぶ「この町の子育てを考える」

※11:30終了予定
 ①アンケートから読み取るこの町の子育て
 ②私が気づいた地域での子育て
 ③「イクメン」の取り組みから学ぶ「この町の子育てを考える」

会場 ●しもなだコミュニケーションセンター
 会場ありです。 ※入場無料 駐車無料

新しい公共支援事業成果報告会 地方分科会
 主催 まちづくり学校 双海人(ふたみんちゅ) 伊予市地域おこし協力隊(双海地域事務所)
 伊予市社会教育課 伊予市地域おこし協力隊(双海地域事務所) 伊予市社会福祉協議会

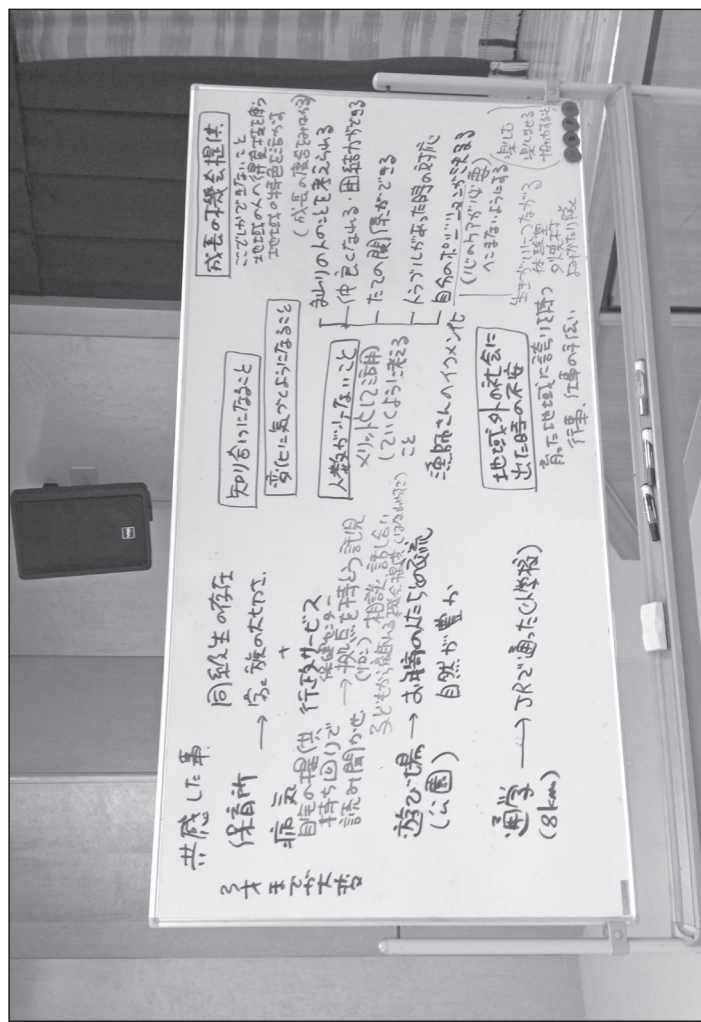
まちづくり学校 双海人(ふたみんちゅ) という方へ
 4月からはスタートした地域づくりの取り組みです。毎月1回開催の話し合いは、双海人(ふたみんちゅ)の皆さんからのご意見やご要望を伺い、双海町の未来を共に考え、双海町の発展に貢献してまいります。

まちづくり学校 双海人(ふたみんちゅ)
 ■お問い合わせ 用事室 ☎089-986-1123(平日9:00～17:00)

ディスカッション
 酒井由紀子さん(下灘学童クラブ)
 二宮真理子さん(由並小学校保護者)
 橋本千春さん(読み語り隊)

コーディネーター
 前田 眞さん

報告 富田 敏 (伊予市地域おこし協力隊)



まとめ

すべての世代が 暮らしやすい町に

いまよりもっと子育てのしやすい双海町に。

「願いの七タプロジェクト」



新しい公共支援事業成果報告会 地方分科会
主催 まちづくり学校 双海人(ふたみんちゆ)
共催 伊予市地域おこし協力隊(双海地域事務所)
愛媛県社会福祉協議会
伊予市社会福祉協議会
伊予市社会教育課
伊予市双海地区公民館

3 社会福祉法人 上島町社会福祉協議会

主事 ふくだ 福田 ひろひさ 広寿 氏

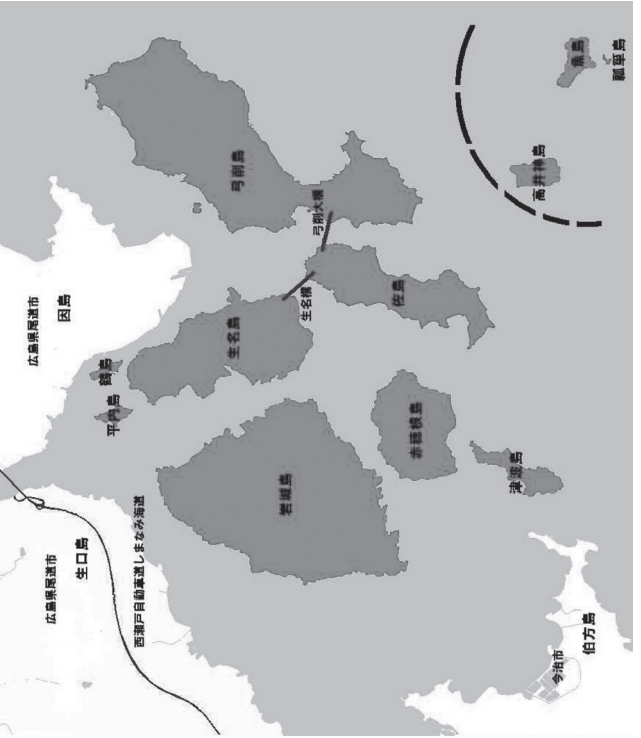
島人発!!

～じぶん達の島を守り、育てるために～



上島町社会福祉協議会
主 事 福田広寿

愛媛県越智郡上島町って・・・



上島町の概要

2004年（平成16年）10月1日に旧生名村・岩城村・魚島村・弓削町が合併して誕生。瀬戸内海に浮かぶ18（うち有人島6）の島々から成る全国的にも珍しい離島のみ自治体。また、西瀬戸自動車道（瀬戸内しまなみ海道）に程近く、町内から望むことが可能。町名の由来「かみじま」とは古くからの当地域一帯の名称である。主な産業としては岩城地区の「青いしモン栽培」、魚島地区の「鯛網漁」、弓削地区の「海苔養殖」が盛んである。また、造船業に従事する者が多い。



人口	7,554 名
世帯数	4,086 世帯
高齢化率	40.1 %
保育（保育所）	4 所
教育（小学校）	4 校
（中学校）	3 校
（高等学校・高等専門学校）	各1 校

平成25年6月30日現在

一昨年度、新居浜において
『地域応援セミナーとうよ』開催！

若人発！
集おう 語ろう 創ろう
ふるさと
未来の郷土



ということ・・・
『上島町』の若人!?が集い、
未来の郷土について語り合った



未来の郷土への思い・・・。

- 今後も活動を島の盛り上げに繋がりたい。
- 今後、我が子が島を出ていく可能性がある中で、島は楽しいというところを出る限り伝えておきたい。
- 子供が生まれ、子育てするなら島との思いで戻ってきた。だから子供達が島に生まれ、育って良かったと思える島にしていきたい。
- 今後、より積極的なPR活動を進めることにより、漁師の仕事を知ってもらい、将来漁師になりたいという子供達を育成していきたい。etc・・・。



次世代（子ども）への思い



思いを形に・・・



子どもが入学できる大学と学ぶふるさと大いがか
かみじま郷土大楽

かみじま郷土大楽とは？

少子高齢化、核家族化、人口の減少が進む上島町において、郷土上島町を子ども達に正しく知ってもらい、郷土愛の育成を図ると共に、自然、伝統文化等を大人から子ども達へ楽しみながら『継承』すること、また他地区の子ども同士、大人同士が交流を深めることを目的としています。
 さらに『大楽』には子どもも大人も『大いに楽しむ』という意味が込められています。



継承

申込み方法
 (1)募集 申込書(申込書)を記入し、ご郵送の上、「生名手いーびーセンター」「地域課 継承推進センター」「上島町社会福祉協議会事務局」「上島町社会福祉協議会事務局」のいずれかへご郵送ください。
 ● 募集期間 申込書提出日より前日のない入集期は受付できません。
申込締切 6月29日(金)
 知り難い個人情報は「かみじま郷土大楽」の運営目的以外では使用いたしません。

その他
 ● 交通費 (旅費)は各自の負担となりますが、その他(受講料、食料費等)は上島町社会福祉協議会が負担いたします。
 ● 入集期は各担当職員(1～2週間前)に都合よくお知らせいたします。
 ● 内容は予定なく変更することがございますので予めご了承ください。
 ● 受講料に必要と思われる物(カメラ、飲み物、用具等)は各自持参ください。なお、ご郵送いただいた物の損失・損害等の責任は『かみじま郷土大楽』では負いかねます。

ご郵送・お問い合わせ先
 上島町社会福祉協議会「かみじま郷土大楽」係 担当者：福田
 〒794-2554 上島町 21-63 第2
 TEL: 76-2638 FAX: 76-2040 E-mail: info@kamimijima-shikyo.or.jp

平成24年0月 日

住所	上島町
ふりがな	姓 名
性別	男・女
学年	(小・中) 学年
所属	〇 卒業
緊急連絡先	【自宅】 0897- 【携帯】

入集額 (原簿等別冊)

入学金 & 学費 無料
子どもが入学できる大学
かみじま郷土大楽開校!!

授業は全4回 教壇は上島町!!

- 7/22(日)** 岩城で学ぶ
 シンポジウム・作り
 祥雲寺観音堂見学など
- 8/26(日)** 魚島で学ぶ
 たこ飯作り
 郷土資料室見学など
- 11/11(日)** 弓削で学ぶ
 焼きそば作り
 石山探検など
- 2/17(日)** 生名で学ぶ
 うどん作り
 立石山探検など

入集対象者 上島町在住の小・中学生で、4回の授業をすべて受けることが可能な方(入集期間無し)
 定員 30名(定員超過の場合は抽選による地区ごと抽選を行います。
 ※定員超過となった場合は抽選を行います。



平成24年7月22日（日） 岩城地区
『岩城総合庁舎』での開校式・入塾許可書授与式



平成24年7月22日（日） 岩城地区
『知新館』でのレモンポークカレー作り



平成24年7月22日（日） 岩城地区

『岩城郷土資料館』の見学



平成24年7月22日（日） 岩城地区

『知新館』でのレモンポークカレー会食



平成24年7月22日（日） 岩城地区

『祥雲寺（観音堂・舟形ウバメガシ）』の見学



平成24年7月22日（日） 岩城地区

『西部海水浴場』での子ども会議



平成24年8月26日（日） 魚島地区

『開発総合センター』でのたこ飯&そうめん作り



平成24年8月26日（日） 魚島地区

『郷土資料室』の見学



平成24年8月26日（日） 魚島地区

『大木海岸』での磯探索・班対抗スイカ割り大会



平成24年8月26日（日） 魚島地区

『開発総合センター』でのたこ飯&そうめん会食



平成24年11月11日（日） 弓削地区

『石山（石灰山）』の見学・探索



平成24年11月11日（日） 弓削地区

『弓削中央公民館』での焼きそば会食



平成25年2月24日（日） 生名地区

『立石山』の見学・体験・探索



平成25年2月24日（日） 生名地区

『サウンド波間田』での寄せ鍋作り



平成25年2月24日（日） 生名地区

『サウンド波間田』での寄せ鍋会食



平成25年2月24日（日） 生名地区

『サウンド波間田』での班対抗石山クイズ大会



平成25年2月24日（日）

生名地区

『サウンド波間田』での子ども会議・遊び



平成25年2月24日（日） 生名地区

『サウンド波間田』での修了証書授与式



平成25年2月24日（日）

生名地区

『サウンド波間田』でのゴミ拾い・片付け



平成25年2月24日(日) 生名地区
『サウンド波間田』での集合写真(『学び倶楽部』修了記念)



そして・・・
平成二十五年度

教師は上場町!!
講師は地元のおぢちゃん&おばちゃん!!

子どもが入学できる大寺
かみこま郷士大楽

ふるさとだけがかく

郷土愛を育もう
大人から受け継ごう

昨年の学び学園に続き
今年も学び倶楽部

他地区・他世代と交流しよう

夏休み最後の部活に
9/7(日) 10:20~15:30
海で遊ぶ
11/10(日) 10:45~15:10
秋の風を味わう

入会対象者 上場町内在任の小・中学生(入会料無料)
定員 各回30名(定員超過は6名程度まで追加募集)
申込み方法 各町内公民館にてお申し込みください(申込フォームは
センター) 和歌山県郷土大楽会(和歌山県和歌山市)「和歌山県郷土大楽会」事務局
※和歌山県に定員超過の申し込みは入会料が別途必要です

※和歌山県に定員超過の申し込みは入会料が別途必要です

その他

※定員超過(超過人数)は和歌山県のご協力を仰ぎますが、その時(超過時、超過人数)は無料です。
※入会料は和歌山県に定員超過した時(超過人数)に和歌山県へ別途お支払いをお願いします。
※和歌山県に定員超過した時(超過人数)は和歌山県に別途お支払いをお願いします。
※和歌山県に定員超過した時(超過人数)は和歌山県に別途お支払いをお願いします。
※和歌山県に定員超過した時(超過人数)は和歌山県に別途お支払いをお願いします。

ご郵送・お問い合わせ先

上場町社会福祉協議会「かみこま郷士大楽」係 担当: 福田
〒779-2550 上場町延生2-133番地3
TEL: 76-2638 FAX: 76-2040 E-mail: info@kamikoma-shakyo.or.jp

かみこま郷士大楽 係 行

住所	〒	上場町	8月9日(金)×2回 平成25年 月 日
氏名	姓	名	姓
性別	男	女	性別
学年	上場町立	(小・中) 学校	年
所属	0957-	0	支部

入会料納付書送付用票 (9月1日(日)分)

かみこま郷士大楽 係 行

住所	〒	上場町	10月11日(金)×2回 平成25年 月 日
氏名	姓	名	姓
性別	男	女	性別
学年	上場町立	(小・中) 学校	年
所属	0957-	0	支部

入会料納付書送付用票 (11月10日(日)分)

- 現状の課題・・・
- 一. 縦・横の繋がりが
 - 一. 目的の伝達
 - 一. 振り返り
 - 一. 内面化
 - 一. ステップアップ

今後の取り組みと展望・・・

来年度は・・・

一. 高齢者の参画

再来年度は・・・

一. フィールドワーク

一. あらい出し

一. つくる（創る・作る・造る）

展望は・・・

目的達成+

新たなまちの創造

『島民力』と『協働』によって・・・。

～ 終 ～

4 YGP（八幡浜元気プロジェクト）

リーダー はまだ 浜田 のりふみ 規史 氏

YGPについて

25年8月31日

**Yawatahama
Genki Project**

八幡浜元気プロジェクト

YGPとは

平成18年8月創立
平成20年5月設立

八幡浜元気プロジェクト

Yawatahama Genki Project

八幡浜を元気にしようや！
実際に行動に移そうや！



宇和島・嵯我野の露天風呂

+



誇れる八幡浜に！
輝く八幡浜に！

YGPとは？

目的

八幡浜を元気にすること

設立当初の目的は変えない。

「地域を元気にする」ためには、「人の元気をつくり出すこと」が必要。そして、「人の元気をつくり出す」には、「地域活動」を活性化させ、「住民参加」を促進させることが大切だと考えている。



目的の転化

田舎を元気にすること

目標

第一義

地域資源を活用した市民参加のまちづくりを**継続的**に行うことと、八幡浜の活性化に貢献すること。

第二義

様々な主体に対して、**地域活動**に関わるきっかけや手段を提供することで、**豊かな市民性を育む**土壌をつくること。

第三義

人・物・金・情報の**コーデイネート**を通して、有機的なネットワークを構築するとともに、**社会変革**を起こすための人財の発掘・育成を行うこと。

※「地域資源」には、地域に存在する人財、物産、自然資源等広く含まれます。

※「市民性を育む」…自分の暮らしや社会（地域）への影響を始め、自分たちが気づいたことを自分たちで自ら提議、実践していく市民を育てること。かつてのような、反別運動やデモ、行状への要望だけを言う市民を育む訳ではないことに留意。

YGPPのスローガン

「人の元気を、まちの元気につなげる」

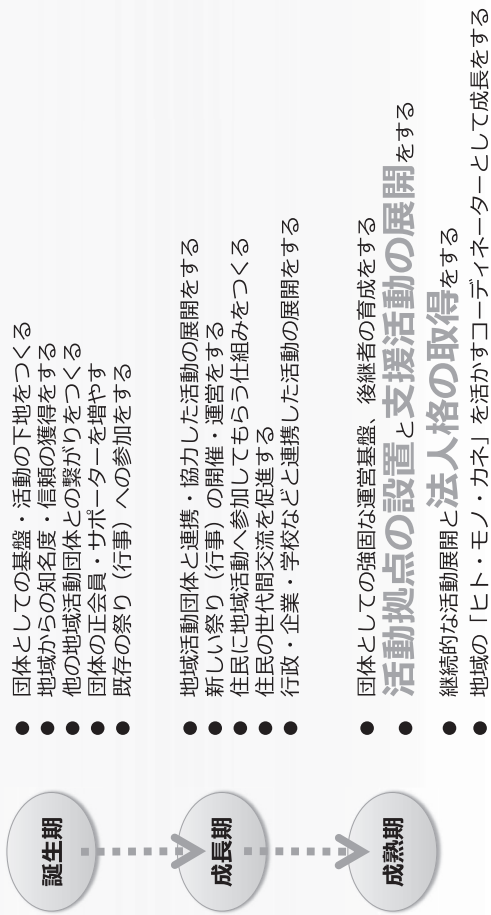


人が元気なまちは活気がある

八幡浜を 元気にする！

住民を巻き込んだまちづくりが必要！

長期活動フロー



YGPPの根底にある考え方①

人を元気にするのは「地域活動」



出会う
学ば
動く
感動する
役立つ
成長する

ボランティア活動、スポーツ活動…
に参加してもらいたい

YGPPの根底にある考え方②

SC

ソーシャル・キャピタル

社会的資本

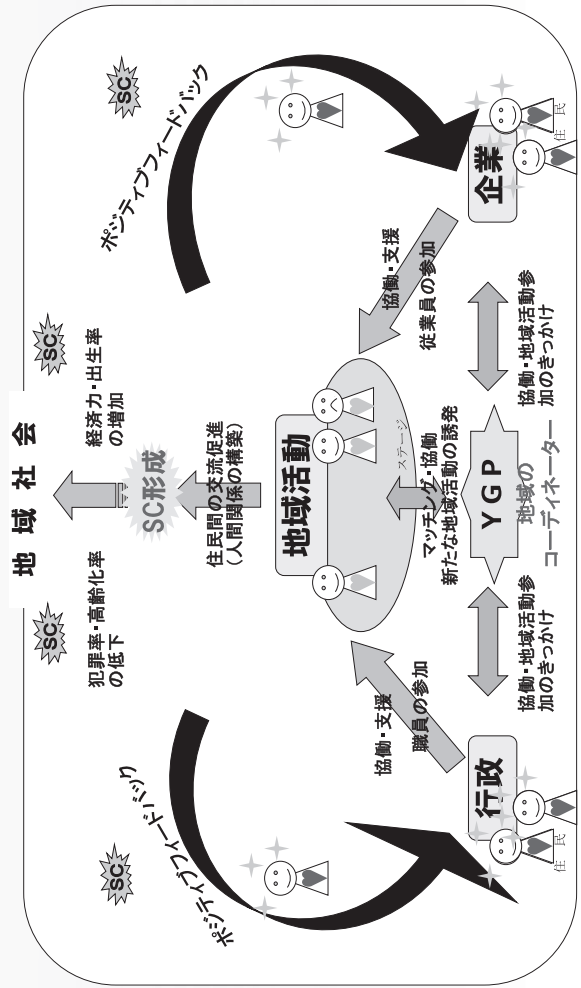
・・・その時代によって「資本」となるもの。



インフラ・住居・社会制度等

信頼関係・絆
コミュニケーション等

YGPPの根底にある考え方④



YGPPの根底にある考え方③

今、この時代の課題を解決するには、

人が持つ信頼関係・人間関係を再構築する！



犯罪の減少・高齢化率の低下・出生率の増加・経済活性化・医療費の削減・省エネ

地域の活性化

地域活性化のプロセス

あるものを活かして
ないものへ育てる！

① 地域に目を向ける「サブプライズ」(発見・驚き)

多様な関わり方を作り出す！

② 地域活動に参加する「チャンス」(きっかけ)

多様な団体・人をつなげる！

③ 地域活動の連携・協働を高める「コラボレーション」

love yawatahama

④ 地域への自負・愛着を高める「シビックプライド」

地域活性化

みなと交流館
「中間支援業務」

x
YGP
「中間支援事業」



住民
参加

“人の元気をまわすの気がなげ”



YGP
「プロジェクト型事業」
例) アートP・オーナーP

地域資
源活用

“あるものを活かして、ほいほのへ育てる”

※ YGPは、地域活性化を成し遂げるために、「中間支援事業」と「プロジェクト型事業」をフレキシブルに使い分けていきます。

24年度

志を紡ぐ中間支援活動の展開

24年度事業報告

日本を元気にするには

1

「人」を元気にする地域活動を
活性化させる！



2

地域資源をキャピタライズ（可視化・
資本化）して、新しい物・価値をつくる！

24年度総括

1. つながり事業

- (1) **メンバー間・地域内外の交流会を実施**
まち育てワークショップにおける交流会（9/15・16）、YGP忘年会（12/15）を実施しました。多様な参加者に恵まれ、地域や世代の壁を越えて「つながる」ことができました。
- (2) **研修会の実施**
今年度は、まち育て事業「まち育て研修会」実施に代えました。
- (3) **地域活動団体ポータルサイト「TUMUGU」の運営**
今年度より、八幡浜市内に限らず、広く様々な団体を紹介するサイトへと変更しました。新たに松山市・新居浜市から3団体の掲載を行うことができた反面、PRが不足しており、思ったほどの掲載数に到達することができませんでした。
- (4) **渉外活動**
当団の事業活動を優先したため、あまり参加できませんでした。今後は、当団の事業状況・参加可能人数を勘案して、判断していきたいと思えます。



まち育てワークショップ交流会
YGP忘年会
まち育て研修会での交流会



地域活動団体ポータルサイト
「TUMUGU」(紡ぐ)

【新規登録】
新居浜ゆるキャラ制作委員会
笑顔創造リンクス affetti
331盛り上げ隊

2. まち育て事業

(1) プロジェクト提案制度の構築

プロジェクトを起すための各種シートの整備やプロジェクトページの開設などを行いました。また、同プロジェクトページを通じて、「応援者」や「参加者」を募集する仕組みをつくりました。しかしながら、応募メニューとしての提供数が少ないなど、十分な応募機能を果たすことができませんでした。今後は、同制度を積極的にPRし、提案・実施・応援・参加等の充実を図っていききたいと思います。

(2) まち育てワークショップの実施

八幡浜市に眠る地域資源の発掘・活用によるプロジェクト立案ワークショップを実施しました(9/15・16) 愛媛大学・松山大学・佐賀大学の学生や地元住民と一緒に、プロジェクトを立案し、4つのプロジェクトが誕生しました。プロジェクトの列挙に差はあるものの、八幡浜活性化に向けたアイデアをプロジェクト化する事ができました。現在もプロジェクトとして進行中のものもあり、今後も引き続き応援を行っていきます。

(3) まち育てプレゼンテーションの実施

まち育てワークショップで誕生した4つのプロジェクトの住民等向け公開プレゼンテーションを実施しました(10/21・12/15)。「応援」(知恵・経験・場所・労力・お金)をつなぐ場所になるとともに、プロジェクトが住民等から評価を受ける機会になりました。

(4) まち育て研修会の実施

多様な講師陣をお迎えし、まち育て研修会等を実施しました(9/23・3/3・3/9・10)。プロジェクト進行の中で見えてきた課題などに対して、研修を通じて解決のアプローチを図りました。また同時に、プロジェクトの方向性等をブラッシュアップすることにもつながりました。

プロジェクト提案制度

プロジェクト紹介

ALL 活動中 準備中 提案中 終了

活動中

スマイルプロジェクト
「八幡浜家入」第4号窓口に向けた制作を行っています！
VIEW | 134

準備中

かまぼこ振打蒲舟レースプロジェクト
かまぼこは八幡浜が誇る特産品！かまぼこ船で舟をくわろう！
VIEW | 148

提案中

八幡浜合宿プロジェクト
八幡浜で心と体を元気にするプロジェクト!! 新しい自分と出逢ってみませんか?
VIEW | 21

活動中

「八幡浜 産物」プロジェクト
八幡浜産物を使ったお菓子作りワークショップを開催中！
VIEW | 134

Coming Soon...

プロジェクト提案制度

プロジェクト提案書

プロジェクトの名称

プロジェクトの目的

プロジェクトの開催時期

プロジェクトの開催場所

プロジェクトの開催日

プロジェクトの開催時間

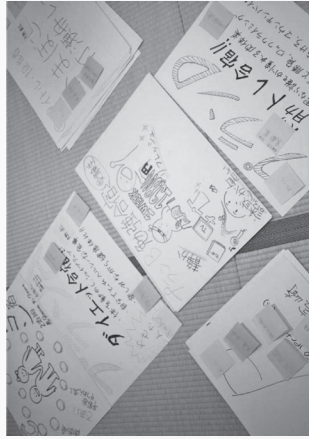
プロジェクトの開催場所

プロジェクトの開催日

プロジェクトの開催時間

八幡浜を元気にするプロジェクトを提案する!
モデルを他地域へ広める!

まち育てワークショップ 9月15・16日開催！



- 大学生や地元住民が集まり、八幡浜の資源を掘り起こし、活用する方法を考える。
- 「八幡浜を元気にするプロジェクト」を提案。
- 4つのプロジェクト提案が行われ、実現に向けてチーム編成へ。

まち育てプレゼンテーション 10月21日 12月15日開催！



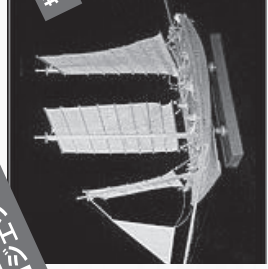
- 4つのプロジェクトが市民等向けプレゼンテーションを実施。
- 足りないもの・支援して欲しいことなどを明確化。また、100円1口の応援券も販売。
- それぞれのプロジェクトを市民等が評価。

プロジェクトの
応援者
を募集します！

誕生した4プロジェクト



Orange Santa Project



かまぼこ板打瀬舟プロジェクト

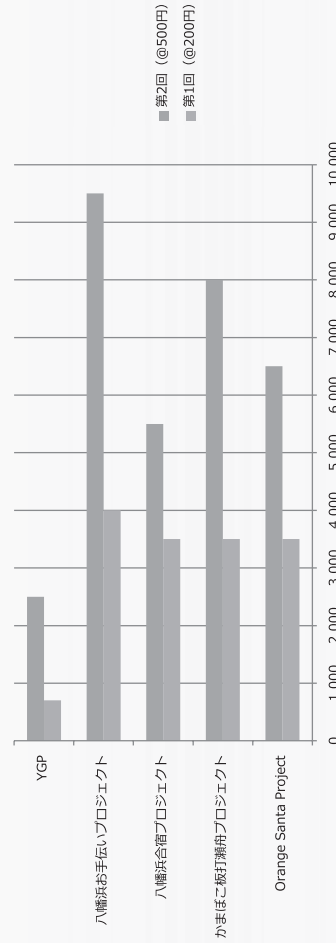


八幡浜合宿プロジェクト



八幡浜お手伝いプロジェクト

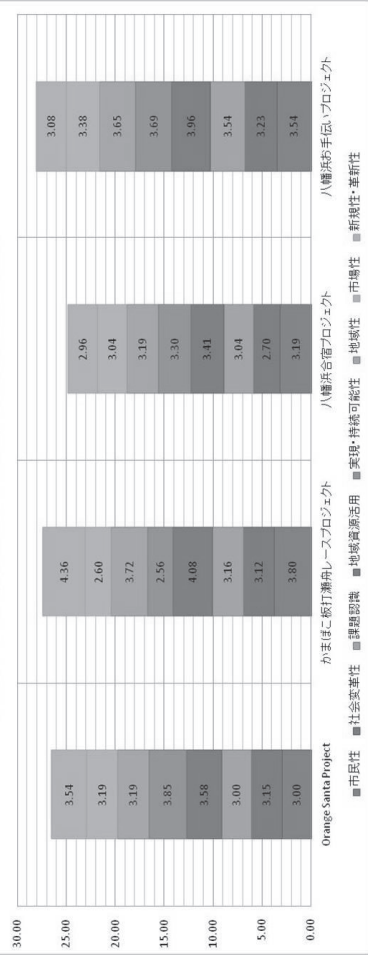
寄付金の分配結果



- 4つのプロジェクトの中から応援したいプロジェクトを選択。100円(500円)の応援券(共感券)を購入することで寄付ができる仕組み。
- 託された寄付金をプロジェクトの活動資金として活用。
→ FBページに活動の様子を公開するとともに、中間報告会等にてその使い道や成果を報告していく。

市民が評価したプロジェクト!

プロジェクトごとの評価(平均値) まち育てプロジェクト(2012/10/20)



- ①市民性
- ②社会変革性
- ③課題認識
- ④地域資源活用
- ⑤実現可能性
- ⑥地域性
- ⑦市場性
- ⑧新規革新性

YGPのFacebookページ

<http://www.facebook.com/ygp.home>



YGPに共感していただけの方は、ぜひ「いいね！」を押してください。以降、活動のお知らせが自分の「ニュースフィード」に表示されるようになります。

人の元気を、まちの元気につなげる

Restoration

ご静聴ありがとうございます!

<http://www.re-ygp.com/>



Fin...

【講演】(15:00～16:00)

『まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために』

IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]

代表 かわきた ひでと 川北 秀人 氏

<講師プロフィール>

1964年大阪生まれ。87年に(株)リクルートに入社し、広報や国際採用などを担当して91年退社。その後、国際青年交流NGOの日本代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94年にIIHOE設立。NPO・市民団体のマネジメントや、企業の社会責任(CSR)への取り組みを支援するとともに、NPO・市民団体と行政との協働の基盤づくりを進めている。2004年、05年、07年、09年に、全国各地のNPO支援センターと協働で、約200の自治体(都道府県・市)とNPOとの協働しやすさを7段階で評価する世界初の調査「協働環境調査」を、また13年に「自治体における『社会責任』(SR)への取り組み調査」を実施し、その結果をもとに毎年約60の自治体で、職員や市民との合同研修を開催している。

(MEMO)

全国180万人加入!!

ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

Aプランは
死亡1,200万円
入院6,500円、通院4,000円
賠償責任5億円(限度額)
を補償

活動場所と自宅
との往復途上の
事故も補償

ボランティア活動
のための
学習会・会議など
での事故も補償

ボランティア自身の
食中毒・熱中症・
特定感染症もOK



	基本タイプ	天災タイプ
年間	Aプラン 300円	460円
保険料	Bプラン 450円	690円

◇天災タイプは基本タイプ+地震・噴火・津波を補償

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

- 行事参加者(主催者(個人)を含みます。)全員のケガを補償(往復途上も含みます。)
- 行事主催者の損害賠償責任も補償



福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

- 在宅福祉サービス (公的介護保険対象外サービスを含みます。)
- 障害福祉サービス
- 児童福祉サービス
- 地域福祉サービス
- 障害者地域生活支援事業 など

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

- 送迎・移送サービス利用者を特定したAプラン
- 送迎・移送サービスのための自動車を特定したBプラン

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社
TEL:03(3231)7545

「天空の郷地域福祉フェスティバル in 久万高原」の様子



かみじま郷土大楽の様子



まちづくり学校 双海人
願いの七夕プロジェクト・子育てフォーラムの様子



YGP（八幡浜元気プロジェクト）の活動の様子



事務局
問合せ先

愛媛県ボランティア・市民活動センター（社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会）
松山市持田町三丁目8番15号
愛媛県社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉課内
TEL 089-921-8912 / FAX 089-921-5289